

2017年、株価再躍動 トランプ・ショックで「成長・株高」時代到来

『反グローバリズム旋風で世界はこうなる』

日経平均2万3000円、NYダウ2万ドル時代へ！』

世界経済金融変動予測実績 No.1の「ウエクサTRIレポート」最新版

植草一秀 著

(価格)1,500 円＋税 (発売日)2016 年 12 月 7 日 (出版元)ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区:代表取締役社長 唐津隆)は、2016 年 12 月 7 日に『反グローバリズム旋風で世界はこうなる 日経平均2万3000円、NYダウ2万ドル時代へ！』を発売いたしました。

2016年11月8日、米国大統領選で共和党のドナルド・トランプ氏が当選しました。クリントン勝利間違いなしとしたメディア情報がまたしても否定された形となりました。6月23日の英国国民投票で英国国民がEU離脱の意思を表示したときも、メディアはEU残留確実としましたが、現実がこれを否定。ヒステリックなトランプ攻撃とEU離脱攻撃も共通しています。

トランプが勝利すれば株価は暴落、ドルも暴落と言われましたが、現実にはトランプ当選とともにニューヨークダウが史上最高値を更新。ドル円も一気に110円台にまで上伸している状況で、日経平均株価は11月10日に前日の下落をすべて帳消しにして、11月

18日には一時的に1万8000円台を回復した。これらの背景には、「反グローバリズム旋風」と「経済基軸の中国からアメリカへの経済基軸の大きな転換」があると著者は本書で指摘しています。

そして、「2016年には中国経済、新興国経済、世界経済が緩やかな底入れ基調を形成、この流れが破壊されないなら、2017年に向けて世界経済離陸の明るい展望が開ける可能性が大きい」と著者は記しています。株式市場では4、5年に一度のペースで大相場が現れますが、まさに2017年は、「株価再躍動」が期待できる年となると著者は述べています。

本書では、この新潮流の背後にある大きな政治と経済の動きを解き明かしていきます。

更に、最高の投資パフォーマンスを得るために注目すべき様々な「経済指標」の読み方もあわせて解説していきます。



本書の構成

第1章 回復する世界経済

第2章 政治の地殻変動

第3章 株価再躍動

第4章 中国基軸からFRB基軸へ

第5章 中国・新興国・資源国の復活

第6章 トランプ VS イエレン

第7章 日銀の完全敗北

第8章 アベノミクスの黄昏

第9章 TPP対反グローバリズム

第10章 政府の失敗と最強・常勝投資の極意

注目すべき株式銘柄(2017)

著者: 植草一秀(うえくさ・かずひで)

1960 年、東京都生まれ。東京大学経済学部卒。大蔵事務官、京都大学助教授、米スタンフォード大学フーバー研究所客員フェロー、早稲田大学大学院教授などを経て、現在、スリーネーションズリサーチ株式会社=TRI 代表取締役。金融市場の最前線でエコノミストとして活躍後、金融論・経済政策論および政治経済学の研究に移行。現在は会員制の TRI レポート『金

利・為替・株価特報』を発行し、内外政治経済金融市場分析を提示。政治情勢および金融市場予測の精度の高さで高い評価を得ている。また、政治ブログおよびメルマガ「植草一秀の『知られざる真実』」で多数の読者を獲得している。

1998 年日本経済新聞社アナリストランキング・エコノミスト部門第 1 位。2002 年度第 23 回石橋湛山賞（『現代日本経済政策論』岩波書店）受賞。『金利・為替・株価の政治経済学』（岩波書店）、『日本の総決算』（講談社）、『ウエクスレポート』（市井出版）、『知られざる真実一勾留地にてー』（明月堂書店）、『日本の独立』『消費増税亡国論』（飛鳥新社）、『日本の再生』（青志社）、『国家は有罪（えんざい）をこうして創る』（祥伝社）、『消費税増税「乱」は終わらない』（同時代社）、『アベノリスク』（講談社）、『日本の真実』（飛鳥新社）、『日本の奈落』『日本経済復活の条件』（ビジネス社）ほか著書多数。

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。

《 お問い合わせ先 》

株式会社ビジネス社 広報担当：松矢

〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

TEL 03-5227-1602/FAX 03-5227-1603